

令和6年5月20日

安芸高田市議会議長  
大下正幸様

総務文教常任委員会委員長  
芦田宏治

### 総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

本委員会の所管事務について調査した結果を、次のように報告いたします。

#### 記

#### 1 調査事件名 安芸高田市地域公共交通計画について

#### 2 調査の目的

昨年の地域懇談会において「土・日にお太助ワゴンが動かないので、不便な時がある」という意見があった。安芸高田市地域公共交通計画で、お太助ワゴンの今後の運用について見直しや検討が行われるとあるが、見直しの方向性や計画の進捗状況を調査する。

#### 3 調査の方法

2023年3月に策定された「安芸高田市地域公共交通計画」をもとに、執行部に質疑を行った。特に市内の主要な移動手段であるお太助ワゴンの今後の運行計画を中心に、執行部の考えを聞き取った。

#### 4 調査結果

##### 調査項目1

Q 質疑：利用者は土・日・祝祭日のお太助ワゴンの運行を望んでいるが、民業圧迫とならないよう、お太助ワゴンは平日のみの運行となった経緯がある。交通体系の見直しの中で、お太助ワゴンの土・日・祝日の運行についてタクシー業者と協議をしているのか。

A 答弁：土・日・祝日の運行については、現時点ではまだ着手していない。その理由は3月をめぐりに公共交通計画の実施計画である利便増進実施計画の策定を目指しており、策定後に具体的な検討をして行くためである。

##### 調査項目2

Q 質疑：高齢者の移動手段として、「お太助ワゴンと介護タクシーの連携についても検討する」とあるが、進捗状況を伺う。

A 答弁：現時点ではまだ着手をしていない。その理由は、3月をめぐりに、公共交通計画の実施計画である利便増進実施計画の策定を目指しており、策定後に具体的な検討をして行くためである。

### 調査項目3

Q質疑：お太助バスやお太助ワゴンは市内のタクシー事業者に運行を委託している。タクシー運転手の高齢化が進んでいるが、あと何年ぐらいで運行が出来なくなるのか。

A答弁：随時、タクシー事業者に運転手の募集状況を確認している。それぞれの事業者で確保の状況も違い、運行が出来なくなる時期については答えることが出来ない。

#### その他

Q質疑：利便増進実施計画を今年度実施するという話があったが進捗状況を伺う。

A答弁：今年度末に策定予定なので、策定したら公表をしていきたいと考えている。

Q質疑：ライドシェアについても今後検討していくのか。

A答弁：具体的にどの地域でということまでは至っていないが、ライドシェアというような記述もその計画の中に盛り込むようにしている。

Q質疑：自動運転のことも今後計画の中で協議するのか。

A答弁：具体的な内容までは記載という形になっていないが、業者と自動運転のヒヤリングをした経緯はある。

総括：安芸高田市地域公共交通計画が2023年3月に策定されたばかりで、今後、公共交通計画の実施計画である利便増進実施計画が策定された後に、具体的な検討をして行くことになっている。利便増進実施計画策定後に進捗状況の確認とともに、課題解決への取り組み状況をチェックしていく必要がある。